

# みちしるべ

主題聖句

「そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒言行録2章46-47節

日本福音ルーテル教会  
九州教区女性会

発行代表者 原 真理  
編集者 樂 满春子  
印刷所 ヤマダスピード製版



「わたしの魂は主をあがめ」  
宮崎教会 牧師 秋山 仁

有名な「マリアの賛歌」。何故マリアはこのように歌うことができたのか。

ヨセフと婚約していたマリア。ところが、そのマリアに受胎告知がなされる。結婚前にもマリアは妊娠してしまう。このことは、(旧約聖書)の律法の理解と当時の習慣からいえば、マリアが少なくとも、その妊娠は神様の意思、聖霊によるものであることを証明できない限り、律法に違反した行為をしたことを意味する。

マリアの戸惑いは、容易に理解できる。しかし、マリアは天使に語る。「お言葉通りなりますように」。そして、マリアは天使の言葉にあつたエリサベツを訪問する。マリアには、エリサベツが彼女をどのように出迎えてくれるのか、分からぬのに。しかし、エリサベツの家に行つた

とき、まだマリアが妊娠も告げないうちから、エリサベツはマリアの胎内に宿つた子どもを祝福する。

その祝福の中で、エリサベツはまた、自分が妊娠していることをマリアに告げる。この出来事は、マリアにとつては、すべてが事実であることを証明する決定的なものとなる。

それゆえにマリアは、自分とエリサベツの上に起こった出来事によつて、神様が自分たちの上に直接臨んだことを讃えるのである。

ここで大事なことを指摘しておきたい。

エリサベツを訪問することで、マリアは励まされているのだ。  
マリアは、突然の妊娠に葛藤と不安を抱えているが、エリサベツは、そのマリアを喜びをもつて迎える。結婚前に妊娠をしたということを、

責めることも非難することもなく、祝福の言葉と共に、その喜びを分かち合いながら、愛情を持つて労わるようを迎える。

一方のエリサベツも、長い間子どもが与えられなかつたことで、自分を恥じている。彼女は、別な意味で、ユダヤ人社会の中で、周辺に追いやりられたような気持ちを抱えていたのかもしれない。しかし、その自分が年をとつてから妊娠した。彼女は、五ヶ月の間身を隠していたが、それもまた周囲の色々なうわさのためになりたくないという気持ちの表れかもしれない。

彼女にはマリアの不安、戸惑いを理解することができます。だからこそ、自分を訪問するマリアを出迎えたときに、愛情を持つて受け止め、労ることができた。神様が自分たちの上に望むことで、子どもが宿つたことの不思議さと喜びを分かち合つたのだ。

年齢も経験も違うマリアとエリサベツの間にある、女性同士のお互いを支える姿勢、関係。

それは、女性会の「今」と、そして、「あるべき」姿と重なつてくるよう

に思う。





午後の部のワークショップは、1グループ約9人の8グループに分かれて行われました。

人型の体の部分に①、周囲に②に関する話を貼り、ジェンダーの定義を話し合いました。

- ①自分自身のジェンダー意識
- ②他者から受けたジェンダー

参加者は、これまでのご自分の人生を振り返り、自身のジェンダー意識に関しては、「男の人が台所に立っていると『自分がしなければならない』という思いにかられる」や、「ジェンダーを自身では意識したことがない」と思われた方も「固定観念・既成概念にとらわれて生きてきた」ことに気づかされたようです。

他者から受けたジェンダーでは、日本の社会環境、特に九州の風土からくる男性社会の事例が多くあげられました。



- ③あなたは何をどうしたい?
- ④あなたの前に閉ざされて見えるものは何?



- ③を人型の頭上に、④を人型の足元に貼り、グループごとに話し合ったことを発表しました。



男性参加者からのジェンダーの事例はとても興味深いものでした。

## 修養会に参加して

樂満 大樹 (甘木教会)

私たちは自身に染み込んでいる固定観念や既成概念によって、無意識のうちに他者を傷つけていることがあると思います。また、女性や男性という枠組みによって行動を制限されたり、他者を排斥したりすることもあると思います。

私たちは固定観念や既成概念、また性による枠組みを越えることによって、女らしさや男らしさに依らない生き方ができ、第三の性の方々とも共に生きることが出来るのだと考えさせられました。様々な枠組みを越え、女性会や青年会を越えて、全ての人々がみんなで話し合い、教会を運営していく制度が九州教区から出来ていくことを望みます。



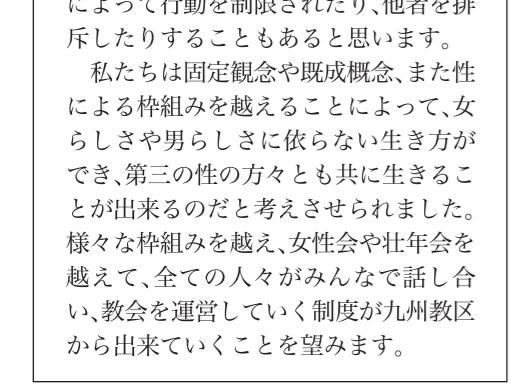
最後に講師の北村さんから講評(自分を大切に。どのような場でも気づいたことは発言すること。)を頂き終了しました。

講演・ワークショップでの分かち合いを通して得たジェンダー理解と気づきが、これからの生き方への糧となることを願っています。

## ◎これからの生き方



- ・自分らしさを求めて生きる
  - ・自分が捉わされていたことを崩していくこと
  - ・主張ではなく、対話によって、状況を変える
  - ・「沈黙は金、雄弁は銀」ではなく、これからは「雄弁は金」で生きる
  - ・今日学んだことを意識してこれからは生きていきたい
  - ・他者を枠に当てはめてしまったことがある
  - ・それぞれの個性を尊重して、お互いを大切にする
  - ・与えられた命を大切に、私らしく生きる
  - ・聖書の見方を変え、パウロを批判的に見る
  - ・教区の役員に女性を
  - ・キリストにおいて自分は解放されているが、他者のためにジェンダー意識を持ち続ける
- などの意見が出ました。



9月12日(土)に19期初めての拡大会長会を室園教会で行いました。

まず開会礼拝で、西川晶子牧師から「苦労を祈りの課題として分かち合い、祈りあうこと。神の愛を信じて喜びに満ち溢れています。外に向かって常に開かれていること。」という力強いメッセージを受けました。その後、女性会連盟第23回総大会の報告や、九州教区修養会、今後3年間の教区の活動について

## 九州教区女性会 拡大会長会

2015年9月12日 室園教会

て協議がなされました。

その中で特に、教区主催の中高生キャンプ支援について、これからは、支援金協力に絞ってのサ



「各女性会の祈りの課題と共に、休会中の女性会や未加入の教会も憶えてお祈り下さい」と原会長。



室園教会のカレー、また食べたいです!  
ポートを続けることになりました。

午後からは、冊子「いこいのみぎわ」について、アンケートの結果、21冊の購入希望を受け、増刷を検討中の経過報告がありました。また会報「みちしるべ」に信徒の証紹介シリーズ(マイストーリー)を計画しており、会員の皆様に原稿などご協力をお願いしました。



## 僕にとっての夏キャン

安藤小泉 海 (健軍教会)

僕にとっての夏キャンは、学校では出会えない、教会という家に集う仲間たちと出会う年に一回の大切な時間です。僕はミッションスクールに通っているのですが、クリスチヤンの友達は片手で数えるほどしかおらず、教会に通う仲間と自分の信仰について語り合うことは、まずありません。

自分の考えを、仲間たちと分かち合い、また、新しい考えを知る。そしてキャンプが終わりそれぞれの家に送り出されるとき、僕は新鮮な気持ちで教会生活や日常生活を迎えることができるのです。ぼくは、そんな夏キャンが大好きです。

最後になりますがこの素晴らしいキャンプに送り出してくださった神様と、支えてくださった女性会の皆様に心から感謝したいと思います。

## 九州教区中高生キャンプ

2015年8月4~6日 ルーテル阿蘇山荘

キャンプ長 永吉穂高 牧師 (小倉・直方教会)

本年も、九州教区中高生キャンプをお支えください感謝いたします。今回は「主の山に『おかえりなさい!』」というテーマで、2015年8月4日(火)~6日(木)に、ルーテル阿蘇山荘にて開催されました。参加者は、中高生参加者16名、教職スタッフ5名、講師1名、青年スタッフ2名、教区女性会3名、熊本地区9名の総勢36名でした。チャプレンは、今年赴任された関満能(せきみつちか)牧師。3月に行われた春のTEENS キャンプのテーマに合わせ、礼拝を中心に、祈り、讃美、賛美を学びました。牧師ROCKS(市原牧師と関牧師)の演奏や、和田牧師によるテザの祈りの体験など、賛美や祈り、信仰の多様性について考えさせられました。

毎年、女性会の方々が食事の用意をしてくださることで、キャンプをスムーズに行うことができます。お祈りとご支援にも大変支えられています。これからも、信仰の継承の場である九州教区中高生キャンプを応援していただければ幸いです。いつもありがとうございます。

11月18.19日にわたり、東京三鷹のナザレ修女会エピファニー館で、第23期女性会連盟第11回役員研修会が行われ、参加させていただきました。

広大な敷地を持つ井之頭公園の側の修道院で、ただひたすらに自分の属する教区の事、担っている働きの事、連盟のことについて考え、意見を交換しました。

総・大会の反省、教区の活動について、会報誌等の情報媒体について、またACWCや「いくくしみ」、NCCについて、たくさんることを知り、分かち合うことができました。どの教区でも、会員の減少や高齢化、若い世代への継承の難しさなど、同じ課題を抱えています。各教区この課題に対する取り組みは、とても参考になりました。

### 筑後地区女性会平和礼拝 8月22日(土)甘木教会

筑後地区5教会（大牟田・久留米・田主丸・日田・甘木）の女性会員24名、壮年・青年4名、牧師4名の32名が甘木教会で平和礼拝をまもりました。

白髭義牧師の「自分のうちに塩をもつ」という説教の後、「5教会が神のみ旨に従い、喜びも苦難も分かち合い、共に歩んでゆくことが出来ますよう、信仰の絆で結んで下さい。」と祈りました。

女性会の働きのために  
献金は九州教区  
捧げられました。



午後は、甘木教会から車で10分の所にある大刀洗平和祈念館（大刀洗飛行場跡）へ移動し館内を見学。戦後70年の今、「私達は戦争をしないために声をあげていかなくては」と心を新たにし、それぞれの帰路につきました。（甘木教会・樂満）

### 「つなぐ」思いで 九州教区女性会会长 原 真理

また、その地域独特の課題もありました。この研修会を通して、「つなぐ」ことの大切さを改めて深く感じました。教会の女性一人一人を教会の女性会がつなぎ、各教会の女性会を地区女性会がつなぎ、地区女性会を教区女性会がつなぎでいます。

そして遠く離れた場所に住む教区同士を連盟がつないでいるのです。私たち役員の仕事は、そのパイプとなり、情報や思いを伝えて、互いに喜びも苦難も課題も分かち合うことができるようになります。



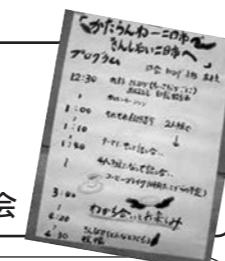
私たち一人一人に主が託してくださった仕事があります。それが何であるかを知り、自分に出来る小さなことを精一杯にすることが、女性会に属するすべての方々のために役立つだと感じました。祈る事、ただそこに、主にあって在ることがまず私たちができる一歩です。主と共にそれが出来ることを深く感謝いたします。

大きな喜びを後に備えてくださる主を心からほめたたえます。

### 地区女性会の 活 動

#### 福岡地区女性会

かたらんね～二日市で  
きんしやい二日市へ  
10月9日(金)二日市教会



あ～素晴らしい～。  
自分が言うのもなんだけど…ひとりひとりが主役のこの集いは、語ることによって自分の心を開放し、自分の思いのすべてを吐き出し、心の整理ができた。グループは4人と少人数にした。聞くだけの人がないように。帰るころには、みんなの顔が輝き「楽しかった～。」の声。  
一緒に弁当を食べ、語り、聞き、のどがカラカラになり、水分補給のコーヒーブレイク。  
また集まり語り、最後はみんなで学生時代へかえり、懐かしい歌、「ローレライ」、「今日の日はさようなら」など歌う・・・(だん)

\*二日市教会ブログより\*

<http://blog.goo.ne.jp/luther-futsukaichi>



### 九州教区女性会 拡大会長会 2015年9月12日 室園教会



9月12日(土)に19期初めての拡大会長会を室園教会で行いました。

まず開会礼拝で、西川晶子牧師から「苦労を祈りの課題として分かち合い、祈りあうこと。神の愛を信じて喜びに満ち溢れています。外に向かって常に開かれていること。」という力強いメッセージを受けました。その後、女性会連盟第23回総大会の報告や、九州教区修養会、今後3年間の教区の活動について

協議がなされました。

その中で特に、教区主催の中高生キャンプ支援について、これからは、支援金協力に絞ってのサ



「各女性会の祈りの課題と共に、休会中の女性会や未加入の教会も憶えてお祈り下さい」と原会長。



室園教会のカレー、また食べたいです!  
ポートを続けることになりました。

午後からは、冊子「いこいのみぎわ」について、アンケートの結果、21冊の購入希望を受け、増刷を検討中の経過報告がありました。また会報「みちしるべ」に信徒の証紹介シリーズ（マイストーリー）を計画しており、会員の皆様に原稿などのご協力をお願いしました。



### 僕にとっての夏キャン

安藤小泉 海 (健軍教会)

僕にとっての夏キャンは、学校では出会えない、教会という家に集う仲間たちと出会う年に一回の大切な時間です。僕はミッションスクールに通っているのですが、クリスチヤンの友達は片手で数えるほどしかおらず、教会に通う仲間と自分の信仰について語り合うことは、まずありません。

自分の考えを、仲間たちと分かち合い、また、新しい考えを知る。そしてキャンプが終わりそれぞれの家に送り出されるとき、僕は新鮮な気持ちで教会生活や日常生活を迎えることができるのです。ぼくは、そんな夏キャンが大好きです。

最後になりますがこの素晴らしいキャンプに送り出してくださった神様と、支えてくださった女性会の皆様に心から感謝したいと思います。

### 九州教区中高生キャンプ

2015年8月4～6日 ルーテル阿蘇山荘

キャンプ長 永吉穂高 牧師 (小倉・直方教会)

本年も、九州教区中高生キャンプをお支えください感謝いたします。今回は「主の山に『おかえりなさい!』」というテーマで、2015年8月4日(火)～6日(木)に、ルーテル阿蘇山荘にて開催されました。参加者は、中高生参加者16名、教職スタッフ5名、講師1名、青年スタッフ2名、教区女性会3名、熊本地区9名の総勢36名でした。チャプレンは、今年赴任された関満能（せきみつちか）牧師。3月に行われた春のTEENS キャンプのテーマに合わせ、礼拝を中心に、祈り、讃美、賛美を学びました。牧師 ROCKS（市原牧師と関牧師）の演奏や、和田牧師によるテゼの祈りの体験など、賛美や祈り、信仰の多様性について考えさせられました。

毎年、女性会の方々が食事の用意をしてくださることで、キャンプをスムーズに行うことができます。お祈りとご支援にも大変支えられています。これからも、信仰の継承の場である九州教区中高生キャンプを応援していただければ幸いです。いつもありがとうございます。

## 九州教区女性会拡大会長会会計報告

2015年9月12日 於 室園教会

	科 目	金 額	備 考
収入	参加会費	16,000	500円×32名
	プール制負担金	38,000	2,000円×19教会
	集会費より補頑	33,980	
合計		87,980	
支出	牧師謝礼	3,000	
	会場費	5,000	
	交通費支給	57,200	12教会
	昼食	19,000	
	事務費	1,500	コピー代他
	役員交通費	2,280	
	合計	87,980	

## 九州教区女性会修養会会計報告

2015年10月12日 於 熊本教会

	科 目	金 額	備 考
収入	参加会費	88,800	1,200円×74名
	プール制負担金	28,000	2,000円×14教会
	集会費より補助	26,778	
合計		143,578	
支出	牧師謝礼	3,000	
	会場費	5,000	
	交通費支給	42,000	@2000 県外女性会員のみ
	昼食	37,500	
	事務費	1,824	しおり印刷・模造紙
	講師謝礼及び打ち合せ	54,254	交通費・宿泊費及び事前打ち合わせの交通費含む
	合計	143,578	

\* 東関東水害見舞い献金箱に 10,400 円  
 \* 担当牧師より九州教区女性会に 3,000 円  
 \* 熊本教会よりチョコ販売金を九州教区女性会に 1,600 円  
 \* 室園教会より会場物品販売金の一部を教区女性会へ  
     献金として 8,000 円  
 以上修養会会場にて、感謝して受領致しました。

会計 佐藤 富美子

◆編集後記◆ それぞれの場所で、クリスマスの  
 喜びに包まれますように。(楽満)

## ● 熊本地区女性会・秋の集い ●

10月17日(土)会場・合志教会  
 講演「家族とは～里親支援を通して考えたこと」  
 講師：山内恵美氏  
 (慈愛園子供ホーム・里親支援専門相談員)

秋晴れの一日、合志教会で、39名の出席者で交流の時を持ちました。家族と暮らせない子どもの養育の場が、施設養護から家庭養護—里親委託—へと変わる方向にあること、その利点や課題について学びました。

熊本地区の女性会には、養護施設で長く働かれた方も多く、教会と社会福祉の働きの密接な関係、その大きさを、活発な話し合いの中に、改めて感じた一日でした。

(室園教会・清重慧子)

## ご 召 天

原 美智姉 97歳 神水教会

2015年 8月31日

山下 節子姉 88歳 二日市教会

2015年10月 4日

福田 秀子姉 89歳 二日市教会

2015年11月 1日

ご家族の皆様のうえに、主の慰めがありますよう、  
 お祈り申し上げます。

## 主な活動報告

### ・常議員会陪席

7/21 教区事務所  
 9/15 教区事務所  
 11/30 二日市教会

### ・九州教区

#### 中高生キャンプ支援

\*打ち合わせ  
 7/18 室園教会  
 7/28 大江教会

#### \*食事作り

8/4 ~ 6  
 ルーテル阿蘇山荘

### ・社会奉仕部会出席

7/30 慈愛園

### ・拡大会長会

9/12 室園教会

### ・第3回役員会

9/12 室園教会

### ・九州教区壮年会連盟

修養会出席

9/23 博多教会

### ・九州教区女性会

秋の修養会  
 10/12 熊本教会

### ・臨時役員会

10/12 室園教会

### ・会計文書発送

11/5

### ・九州セミナリオ

11/14 熊本教会

### ・女性会連盟役員会

11/17 東京教会

### ・女性会連盟役員研修会

11/18 ~ 19

東京・ナザレ修女会

エピファニー館

### ・第4回役員会

11/28 熊本教会

### ・第98号「みちしるべ」

発送作業

12/9 久留米教会